

伊賀市の宝物をインターネットで発信 デジタルミュージアム 秘蔵の国 伊賀

1月19日(火) 開設

【問い合わせ】

- ◎上野図書館 ☎21-6868 FAX21-8999
- ◎文化交流課 ☎22-9621 FAX22-9619
- ◎文化財課 ☎22-9678 FAX22-9667

◆貴重な資料や文化財が インターネットで見られます

伊賀は、かつて藤堂高虎に「秘蔵の国」と評され、三重県内の市町村で最多の指定文化財があるなど、歴史文化の宝庫です。

しかし、多くの貴重な資料は、公開できる場所が限られていたり、資料の劣化を防ぐために、簡単に資料を見ることもできませんでした。

そこで、伊賀市や（社）伊賀上野観光協会などが所蔵する資料をインターネット上で公開し、学校や地域での歴史学習、観光案内などに役立てるとともに、全国の人に伊賀の歴史・文化を知ってもらうため、「デジタルミュージアム 秘蔵の国 伊賀」を開設します。

「いつでも・どこでも・だれでも」伊賀の歴史・文化に触れられるようにすることで、伊賀をもっと好きになってもらうきっかけになると考えています。

▼スマートフォンからも見られます



デジタルミュージアムは インターネット上の博物館

古文書・古地図などの歴史資料や有形・無形の文化財などをデジタルデータで記録・保存することをデジタルアーカイブといえます。

デジタルミュージアムは、デジタルアーカイブ化した歴史資料や文化財などをインターネット上で公開し、これまで博物館などでしか見ることができなかった資料を無料で、簡単に高精細な画像として閲覧できるようにすることです。つまり、インターネット上の「博物館」です。

デジタルアーカイブ化した伊賀市の資料は、全国の博物館、美術館、大学図書館、自治体などが加盟するネットワークシステム「デジタルアーカイブシステム A D E A C」を通して公開されます。公開されたデータはシステム連携を通じて、他の検索システムである国立国会図書館サーチやジャパンサーチでも見ることができるようになります。



◆どうやって使うの？

デジタルミュージアムのトップ画面を開くと「芭蕉と俳諧の世界」「伊賀流忍者」など5つのテーマが表示されます。

テーマを選ぶと、テーマごとに資料の一覧が表示され、さらに見たい資料を選ぶことで高精細な画像や資料の内容を現在の文字で見られる翻刻文を表示することができます。

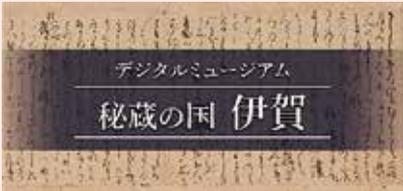
実物を見ることに近い感覚を味わうことができ、翻刻文と見比べることで、資料の内容を知ることができます。研究者だけでなく、学校での郷土・歴史学習、地域での文化活動にも役立てることができます。

早速ミュージアムへ行ってみよう

デジタルミュージアムの開設は1月19日(火)ですが、現在「芭蕉と俳諧の世界」のページのみ、先行して公開しています。2次元コードを読み取るか、市ホームページにあるバナーからアクセスできます。



▲デジタルミュージアム「秘蔵の国 伊賀」



▲市ホームページのこのバナーをクリック

▼デジタルミュージアム 秘蔵の国 伊賀 トップページ



今年度は「芭蕉と俳諧の世界」「伊賀流忍者」「郷土資料」の3つのテーマを公開します。



現在公開中



芭蕉と俳諧の世界

伊賀に伝わる芭蕉の真筆や伊賀にゆかりの俳人の資料を公開。

1月19日公開



伊賀流忍者

『万川集海』をはじめ、忍者に関する資料を公開。

1月19日公開



郷土資料

藤堂家の藩政資料や地域の歴史に関する資料を公開。

来年度公開予定

伊賀市の文化財

市内にある建造物や絵画などの指定・登録文化財とその特徴などを公開。

来年度公開予定

歴史探訪

各地に残る歴史的な名所の魅力などを公開。

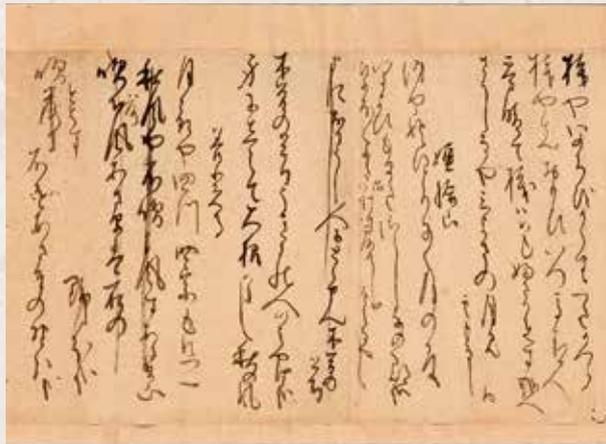
各テーマの見どころを紹介!!

芭蕉と俳諧の世界………

ホンモノで臨場感を味わう

芭蕉の人となりや俳諧への懸命な姿勢を感じることができます。

墨の濃淡や紙の質、紙の継ぎ目まで見えます。



▶更科紀行 芭蕉自筆稿本

芭蕉の筆跡を活字と並べて見比べられます。



芭蕉翁記念館
学芸員 高井 悠子



画面右下のバーを操作することで、翻刻が重なって表示されます。

棧やいのちをからむつたかつら
棧や先おもひいつ馬むかへ
霧晴て棧ハめもふさかれず越人
さらしなや三よさの月見 同
雲もなし

姥捨山

佛や姥ひとりなく月の友
いさよひもまたさらしなの郡哉
ひよろくとこけて露けしやをみなへし
よにおりし人にとらせん木曾の
木曾のとちうきよの人のみやげ哉
身にしみて大根からし秋の風

善光寺

月影や四門 四宗も只一
秋風や石吹風すあさま山
吹落 蔵あさままは石の
とはす 野分哉
吹落す 石をあさまの野分

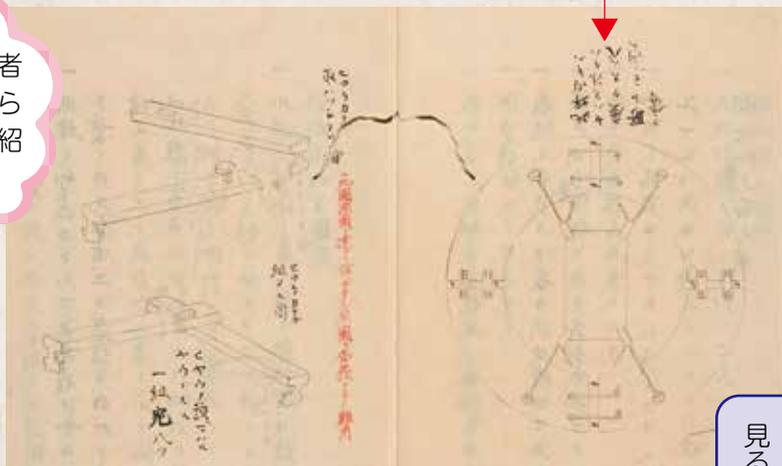
芭蕉の推敲の跡がはっきりわかります。

伊賀流忍者………

忍びの秘伝書を世界に公開

忍術書には伊賀流忍者の歴史や心得をはじめ、実戦的な忍びの術等が記されており、彼らが子孫を思いやり書き残した様子がうかがえます。

細かい部分の描写や筆づかいもくっきり見えます。



『萬川集海』忍器篇の一部では、「関連画像を見る」をクリックすることで伊賀流忍者博物館の収蔵資料を見ることができます。



他にも『校正伊乱記』では、忍者が活躍した時代から続く寺社を画像で紹介しています。



伊賀流忍者博物館
学芸員 幸田 知春 さん



伊賀流忍者博物館所蔵の水蜘蛛

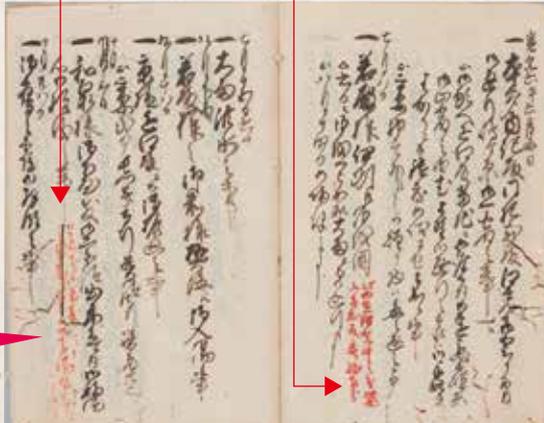
郷土資料……資料に感じる人々の暮らし

『永保記事略』は、藤堂藩の法制や人事、災害などさまざまなことが記載されている資料です。今回デジタル化した第一巻は、寛永17（1640）年から延宝4（1676）年までの記録です。



將軍徳川家光の他界を伝える記事です。將軍の死去は、藤堂藩にとっても重大な関心事でした。（翻刻）將軍家光公御他界

朱書や貼紙で情報があとから書き加えられているのがわかります。



資料を拡大したり、回転させて見ることもできます。



上野図書館 司書 村田 智美



▲資料の拡大図

「伊賀市の文化財」「歴史探訪」（令和3年度公開）

「伊賀市の文化財」と「歴史探訪」は、来年度に公開を予定しています。「伊賀市の文化財」では、市内に約500件ある建造物や絵画、彫刻などの指定・登録文化財の特徴や見どころを画像とともに紹介します。

「歴史探訪」では、各地に残る歴史的な名所の魅力を発信するほか、芭蕉や伊賀流忍者ゆかりの地などを地図に示し、関連資料や現地写真を交えて解説します。また、現在の地図と江戸時代の「上野城下町絵図」を比較できる機能もあり、時代を超えて歴史散歩を楽しめます。



▲県指定文化財(建造物) 旧小田小学校本館

公開記念講演会 ～伊賀の魅力再発見～

今年度公開の芭蕉、忍者、郷土資料の専門家それぞれ招き、シンポジウム形式で講演会を開催します。

【と き】2月27日(土)

午後1時30分～

【とこ】ハイトピア伊賀

5階多目的大研修室

【講師】

「芭蕉と俳諧の世界」

関西大学名誉教授

藤田 真一さん

「伊賀流忍者」

伊賀流忍者博物館名誉館長
川上 仁一さん

「郷土資料」

甲南大学教授

東谷 智さん

【定員】先着60人

【申込方法】氏名・電話番号を左記まで。

【申込期間】

1月18日(月)～2月5日(金)

【申込先・問い合わせ】

文化交流課

☎ 22-9621

FAX 22-9619